

新しい学習指導要領の実施に向けた

中学校 授業改善のStrategy vol.2の活用について

この指導資料は、平成21年度の全国学力・学習状況調査並びに福岡県学力実態調査の調査結果を踏まえ、新しい学習指導要領で一層重視されている学習について、授業改善のポイントを示したもので

新しい学習指導要領の一部が、本年度から全国の中学校において先行実施されています。各学校においては、新しい学習指導要領に基づいた授業を創造すること、特に、完全実施に向けて新しい教育課程の編成、教材・教具等の整備等を行うことが求められます。

そのためには、校内研修等を通して、新しい学習指導要領の趣旨と改善された具体的な内容等を理解するとともに、それに係る生徒の学力の実態を改めて把握することが重要です。

昨年度、県内のすべての先生方に配布した指導資料『中学校 授業改善のStrategy』では、各教科において、生徒が習得した知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力等をはぐくむための単元構成や指導方法の例を示しました。その指導資料とあわせて活用し、すべての生徒に新しい学習指導要領の基本理念である「生きる力」がはぐくまれるよう、先生方の不断の努力で授業が創造されることを切に期待しています。

資料の構成

国語、数学、社会、理科、外国語においては、調査問題を解答するために必要な知識・技能や思考力・判断力・表現力等を(生徒の思考)として示し、それらを身に付けるための授業改善のポイントを示す。

新しい学習指導要領で一層重視されている学習と関連付けて示しています。

社会においては、福岡県学力実態調査の結果から特に課題が見られ、小・中学校の学習内容と授業改善のポイントを相互に理解することが重要であることから、小学校版も掲載しています。

音楽、美術、保健体育、技術・家庭、道徳、総合的な学習の時間、特別活動においては、学習指導要領の改訂で新たに追加された内容や改善が図られた内容等について、授業改善のポイントを示しています。

活用のポイント

個人の日々の
教材研究で

学力向上コーディネーターを
核とした校内研修で

学力向上支援チームが
学校を支援するときに

教育事務所の
授業実践力アップ研修等で

1 例示した問題を解いてみて、どのような知識・技能、思考力・判断力・表現力等が必要なのか、正解できないつまずきの原因は何なのかを実感しましょう。

2 新しい学習指導要領の授業改善のポイントに示した事項について、学習指導要領『解説』をみて、ねらいや学習活動の例を具体的に確認しましょう。

3 ()に示した学習指導のポイントを参考に、新しい学習指導要領のもとでの指導計画を作成したり、日々の授業を工夫したりしましょう。

平成21年度

全国学力・学習状況調査 福岡県学力実態調査の結果を受けて

新しい学習指導要領の実施に向けた

中学校 授業改善のStrategy^{vol.2}

福岡県教育委員会

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅠ

■「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」の指導を通して〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を指導しましょう。

○実生活での言語活動を行うために不可欠な知識・技能や学習を進める基礎・基本となる知識・技能を、意図的、計画的に繰り返し指導しましょう。

○主語と述語との関係

日常の言語活動を対象化し、法則を自覚する学習活動を位
置付ける。その際、次のように知識を端的に整理して示す。

アイ 何が(は)——どうする。〔例〕父が散歩する。：動作を示す文
ウイ 何が(は)——どんなだ。〔例〕風が快い。：様子を示す文
エウ 何が(は)——何だ。〔例〕彼が生徒会長だ。：説明を示す文
何が(は)ある(ない)。〔例〕本がある。：存在を示す文

次のような学習活動を位置付け、一文を正しい日本語の
きまりに従つて書くことを繰り返し指導する。

- ・誤りや不十分な箇所を指摘する学習活動
- ・なぜ誤りなのかを説明する学習活動
- ・範例を正しく書き写す学習活動

推敲の指導を適切に行い、次のような推敲する習慣が身
に付くようにする。

- ・主述、修飾、被修飾の関係、文と文との相互関係などの
整合性を点検する。
- ・ある程度書いたら、読み手の立場に立つて音読する。
- ・自分以外の人に書いた文章を読んでもらい点検を促す。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅡ

■情報を分析・評価し、論述する学習活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育成しましょう。
○「C詩むこと」の指導では、表現内容だけでなく表現の仕方についても評価できるところにこだわります。

○「C読むこと」の指導では、表現内容だけでなく表現の仕方についても評価できるようにしましょう。

なぜ、そのような表現をしたのか、書き手の意図を考える。
土や空という自然物と根、幹、枝、芽という樹の各部分を
一体として見ることによって、植物も自然の創造物である
ことを改めて私たちに認識させるためだろう。

3 書き手の意図と表現の仕方との関係などについて評価する。
「土がにじむ」や「空がしみる」などの個性的な比喩は、
樹が空と大地とともに生きていることを納得させる表現である。

次の学習活動を位置付け、文学的な文章の表現の工夫とその効果や意図を考え、評価できるよう指導する。

- ・様々な表現の工夫を見出し・指摘する学習活動
- ・表現の工夫の効果や意図を考え、ノートに書く学習活動
- ・考えた効果の妥当性や適切性を話し合う学習活動
- ・比喩などの用語とその効果を端的にまとめる学習活動

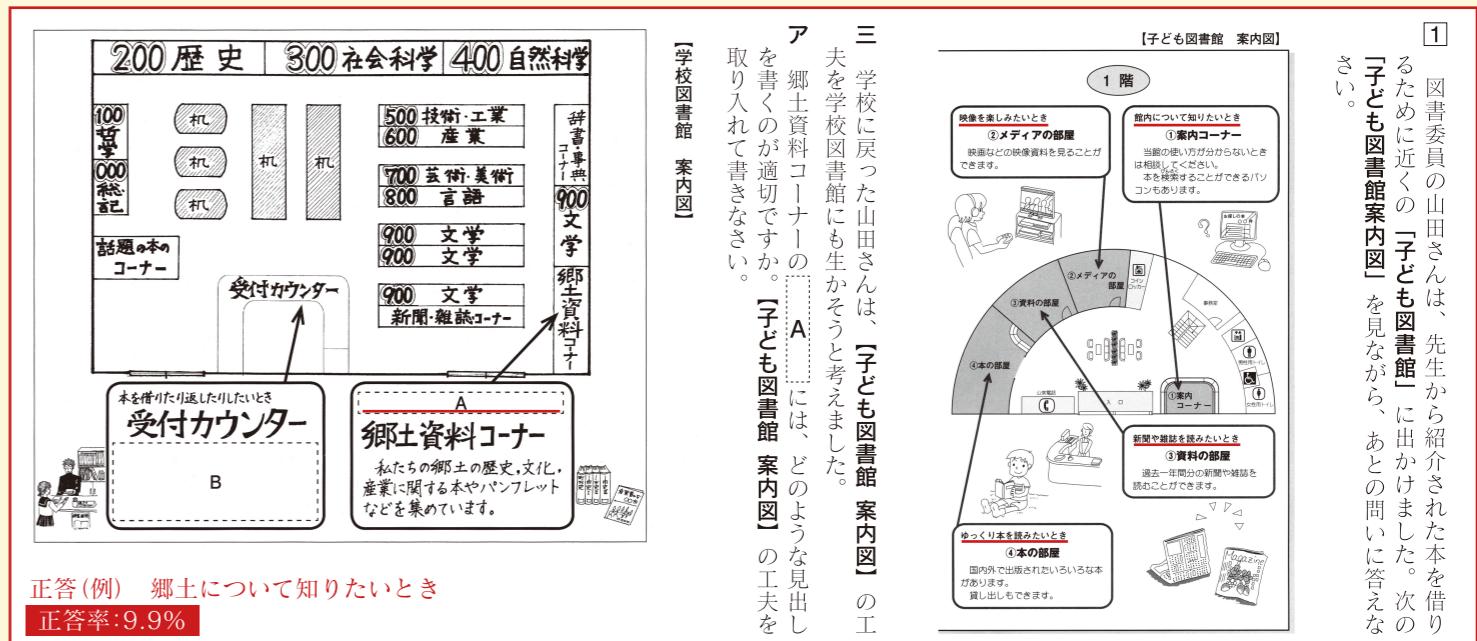
読むことの指導において、次のことに留意する。

- ・生徒が自分の考えを書く時間を位置付ける
- ・生徒の考えを相互に検討する時間を位置付ける。
- ・生徒の考えの不備・不十分などに指導を加える。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅢ

■様々な形態の文章の構成や展開、特徴を分析し、その工夫や効果を自分の表現に生かすことができるようにならぬか。

- 「C読むこと」の指導では、様々な表現形式の特徴や効果などについて評価できるようにしましょう。
- 「B書くこと」の指導では、各表現形式の特徴に合わせて適切に書くことができるようになります。



な情報を読む学習活動を位置付ける。その際、次のことを指導する。
・どのようないての読者を想定しているのかを考えること。
・どのように意図で書かれた表現なのかを考えること。
・相手や目的・意図によって、どのような表現の仕方が適切かを明らかにして整理すること。

ある表現形式を別の表現形式に転換する学習活動を位置付ける。
例えは、次のような学習活動が考えられる。

- ・音声言語（伝達や連絡、対話など）を通して得た情報を、文字言語（メモや報告、広告など）の情報に置き換える学習活動
- ・図表やグラフで示された情報を、音声言語で説明する学習活動
- ・新聞や広告、ポスター、写真などから得た情報を、適切な「ことわざ」や「四字熟語」などと結び付けて説明する学習活動

次のような表現技法を学んで、使う学習活動を位置付ける。

- 注目させる技法
 - ・反復、比喩、擬声語・擬態語、対照法、倒置法、逆説法など
- 興味をひく技法
 - ・しゃれ、語呂合わせ、パロディー、文字遊び、回文など
- 記憶させる技法
 - ・省略法、頭韻・脚韻、七五調など

社会生活で利用されている文字言語や音声言語の使い方の正誤、適否、美醜を検討する学習活動を意図的、計画的に位置付ける。

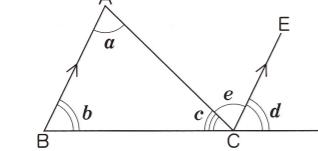


- 国語の能力の育成のために、日常的な指導を工夫しましょう。
- 言語活動を通して、どのような知識・技能を高め、どのような思考力等を育てるのか明確にして指導しましょう
- 言語に関する知識・技能、読解に必要な知識・技能等を板書して、生徒に口述や記述をさせましょう。
- 発問や指示、意図的な指名により、生徒が自他の考えの正誤、適否を明らかにできるようにしましょう。
- 生徒の発言の意図や内容・方法を分析し、不十分な点は指導を加え、努力や成果には評価を加えましょう。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントI

■数学的な推論の意味の理解と論理的に考察し表現する能力を伸ばしましょう。

- 8 ある学級で、「三角形の内角の和は180°である」ことの証明について、次の①、②を比べて考えています。

① 下の図の△ABCで、
辺BCを延長した直線上の点をDとし、点Cを通り辺BAに平行な直線CEをひく。

平行線の錯角は等しいから、 $\angle a = \angle e$
平行線の同位角は等しいから、 $\angle b = \angle d$
したがって、 $\angle a + \angle b + \angle c = \angle e + \angle d + \angle c$
 $= 180^\circ$
よって、三角形の内角の和は180°である。

② 下の図の△ABCで、
3つの角の大きさをそれぞれ測ると、
 $\angle A = 72^\circ$
 $\angle B = 64^\circ$
 $\angle C = 44^\circ$
したがって、
 $\angle A + \angle B + \angle C = 72^\circ + 64^\circ + 44^\circ$
 $= 180^\circ$
よって、三角形の内角の和は180°である。

どんな三角形でも内角の和は180°であることの証明について、下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア ①も②も証明できている。
イ ①は証明できており、②は形の違うたくさんの三角形で同じように確かめれば証明したことになる。
ウ ①は証明できているが、②は形の違うたくさんの三角形で同じように確かめても証明したことにはならない。
エ ①も②も形の違うたくさんの三角形で同じように確かめれば証明したことになる。
オ ①は形の違うたくさんの三角形で同じように確かめれば証明したことになるが、②はそれでも証明したことにはならない。

正答 ウ 正答率: 26.2%

生徒の思考

- 1 ①の証明は、平行線の性質を根拠にして説明している。
2 ②の証明は、三角形の3つの角の大きさを実際に測って説明している。
3 ①と②の証明を比較すると、①は、どんな三角形についてもいえるが、②は、特別な場合についての説明なので、どんな三角形についても証明したことにはならない。
4 どんな三角形でも180°になることを証明しているのは①である。

既習の数学を基にして、数や図形の性質などを見い出し、発展させる活動を行わせる。

- 帰納や類推、演繹の違いを理解させるために、推論の過程が異なる二つの証明について、その相違点を説明せたり、推論の過程に誤りがある証明を読ませ誤りの部分を指摘させたり、どうすれば改善するかを考えさせたりする。
○根拠を明らかにして説明させ、伝え合う活動の中で、数学的な表現を用いて、他者を納得させることができるようにする。

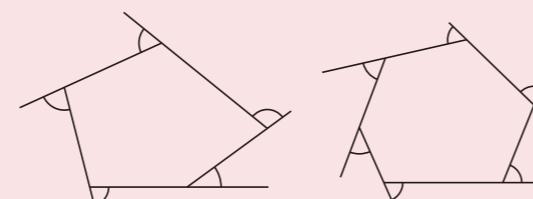
(指導例) すべての多角形(n角形)の外角の和は360°になるのか?

帰納的な考え方

いくつかの多角形の外角の和を調べると、360°になるので、すべての多角形の外角の和も360°になるのではないか。

演繹的な考え方

$(\text{内角の和}) + (\text{外角の和}) = 180^\circ \times n \text{角形}$
 $(\text{外角の和}) = 180^\circ \times n \text{角形} - (\text{内角の和})$
 $= 180^\circ \times n \text{角形} - 180^\circ (n-2)$
 $= 360^\circ$



2つの考え方を比較して、その違いを説明し、すべての多角形の外角の和が360°になることを、説明しているのはどちらかを考えさせる。

日常的な指導の工夫

- 観察、操作や実験などの活動によって帰納的に導かれたものと演繹的に導かれたものの違いを理解できるようにする。
○言葉や数、図、記号を用いて根拠を基に筋道を立てて説明するなど知的コミュニケーションを通して、表現の質を高める活動を行う。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントII

■事象を数理的に考察し表現する能力を高めましょう。

- 3 美咲さんは、家の白熱電球が切れたので、環境にやさしいといわれている電球形蛍光灯(以下、「蛍光灯」とします。)にかえようと考えています。

そこで、蛍光灯について調べたところ、次のことが分かりました。

蛍光灯について分かったこと

- ◎値段が高い
- ◎電気代が安い
- ◎寿命が長い

| 蛍光灯と白熱電球の比較(ほぼ同じ明るさのもの) | |
|-------------------------|------------------------------------|
| 1個の値段 | 蛍光灯(10W) 1000円 |
| 電気代(1000時間) | 220円 白熱電球(54W) 150円 1190円 |
| 1個の寿命 | 10000時間 1000時間 |

美咲さんは、蛍光灯と白熱電球について、電気代は使用時間にともなって一定の割合で増えるとして、1個の値段と電気代を合計した総費用を比べてみようと思いました。



正答(例)

- 例1 蛍光灯と白熱電球について、使用時間と総費用の関係を直線のグラフに表して、その交点の座標から、使用時間の値をよむ。
例2 蛍光灯と白熱電球について、x時間使用したときの総費用をy円として、yをxの一次関数の式で表し、連立方程式を解いて、そのxの値を求める。
例3 蛍光灯と白熱電球について、使用時間と総費用の関係を表す表をつくり、変化の割合が一定であることを用いて、総費用が等しくなるときの使用時間を求める。

正答率: 17.1%

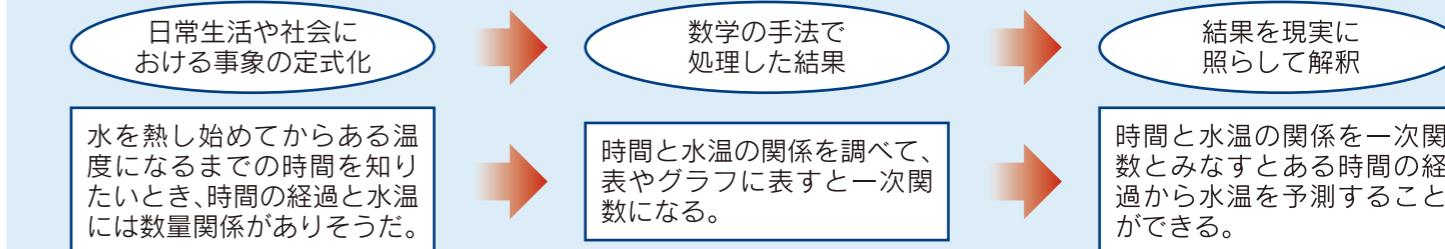
生徒の思考

- 1 蛍光灯と白熱電球の比較表から、それぞれの1個の値段、電気代の違い、1個の値段と電気代の合計(総費用)に着目すると、1個の値段は白熱球が安いけど、電気代の増え方は蛍光灯より白熱球の方が大きい。
2 蛍光灯と白熱電球のそれぞれの使用時間と総費用についての比較表をつくると、詳しいことが分かりそうだ。
3 蛍光灯と白熱電球のそれぞれの使用時間と総費用の比較表からグラフを書くことで、一次関数であることが分かり、それぞれの交点が総費用が等しくなる時間であることが分かる。

日常生活や社会で、数学を利用する活動を行わせる。

- 事象を理想化・単純化し数学的に解釈させ、既習の知識・技能、数学的な見方や考え方を活用させる。
○解決の過程を言葉や数、式、表、グラフなどを用いて表現させ、説明させる。
○事象を数理的に考察し表現する能力を高めるために、数学的活動は、問題解決の過程を踏まえて行う。

<問題解決の過程例>



日常的な指導の工夫

- 日常生活や社会のできごとを自ら数学と結び付けて考察したり処理したりする活動を通して、既習の知識や技能、数学的な見方や考え方などの必要性やはたらきを実感できるようにする。
○言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて、数量や図形などに関する事実や手続き、思考の過程や判断の根拠などを的確に表現できるようにする。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅠ

■観察、実験や自然体験、科学的な体験を一層充実させ科学的な知識や概念を理解し活用できるようにしましょう。

- 1 光や音の性質について、次の問い合わせに答えなさい。

(2) いくつかの音を使って、音の高さの違いをコンピュータで調べました。図2は、ある音を記録したときの音の高さを示しています。音の高さは同じで、この音より小さい音を記録したときの音の高さを、図2の中に書き入れなさい。

正答例 振動数が同じで振幅が小さい波形

正答率:42.1%

音の大きさと振幅の関係や音の高さと振動数の関係は、音や弦の振動などを用いて調べさせる。弦の振動では、弦をはじく強さ、弦の長さや太さなどの条件を制御して音を発生させ、音の大きさや高さを決める条件を見いだせる。

オシロスコープやコンピュータを活用して音の波形を示し、音の大小と振幅、音の高低と振動数が関連していることを見いだせる。

- 8 図は、小腸の表面にある柔毛のつくりを表しています。あの問い合わせに答えなさい。

(1) 図のAは、ある物質が運ばれる管を示しています。Aを通って運ばれる物質を、次の1~4から1つ選んで、その番号を書きなさい。

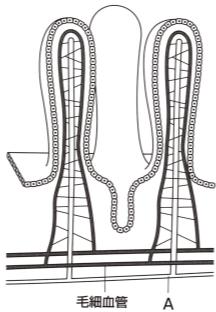
1 脂肪 2 アミノ酸 3 ブドウ糖 4 タンパク質

正答 1 正答率:33.6%

(2) 小腸で吸収された栄養分をからだの各部分に運ぶはたらきをするのは、血液の成分のうちのどれですか。次の1~4から1つ選んで、その番号を書きなさい。

1 白血球 2 血しょう 3 赤血球 4 血小板

正答 2 正答率:31.9%



消化については、食物が物理的及び化学的に消化される仕組みを消化酵素を用いて調べる実験を行い、その実験結果を図や絵を用いてまとめる学習活動を位置付ける。

血液の循環については、血流の観察や血液の循環経路の模式図を活用して、血液循环の意義を理解させる。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅡ

■科学的な概念を使用して考えたり説明したりすることができるようになります。

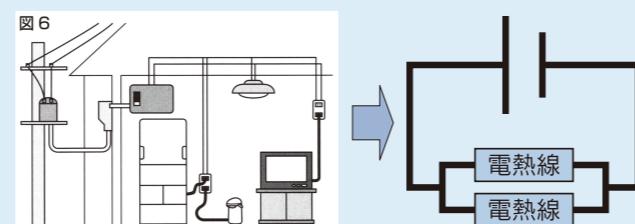
- 3 (4) 図6のように、家庭用コンセントに複数の電気器具をつなぐと、並列つなぎになります。並列つなぎになるようにしてある理由を簡潔に書きなさい。

正答例 それぞれの電気器具に同じ電圧がかかるようにするため。

正答率:36.9%

生徒の思考

- 1 並列回路ではそれぞれの抵抗にかかる電圧は等しい。
2 抵抗と電気器具は同じと考えてよい。
3 並列つなぎになっている家庭用の電気器具にかかる電圧は等しい。



電気器具の配線を並列回路に置き換える。

簡単な直列回路や並列回路における電流や電圧に関する規則性について、実験を通して見いだすとともに、日常生活で使っている電気器具などと関連付けて理解させる。

家庭などで電流の流れを止めるブレーカーが取り付けられている意味や並列つなぎの利点などについて考え、話し合う活動を設定する。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅢ

■観察、実験の結果を分析し解釈することができるようにしましょう。

- 7 ある地震のゆれを、A~Cの3地点で記録しました。下の図は、それをもとに時刻と震源からの距離の関係を表したものです。あの問い合わせに答えなさい。

(2) A地点からC地点のように、震源からの距離が大きくなるほど、小さなゆれの時間が長くなる理由を、簡潔に書きなさい。

正答例 小さなゆれの波のほうが大きなゆれの波よりも速いため。 正答率:8.2%

(3) この地震の発生時刻はいつですか。次の1~4から1つ選んで、その番号を書きなさい。

1 17時55分15秒 2 17時55分25秒 3 17時55分35秒 4 17時55分41秒

正答 2 正答率:21.8%

生徒の思考

- 1 図に示されているデータの特徴を読み取る。

- ・小さなゆれが先に起こる。
- ・震源から遠くなるほど、小さなゆれも大きなゆれも小さくなる。
- ・震源から遠いほど、小さなゆれの継続時間が長い。

- 2 波によってゆれが起こる。

- 3 波には小さなゆれを起こすP波と大きなゆれを起こすS波がある。

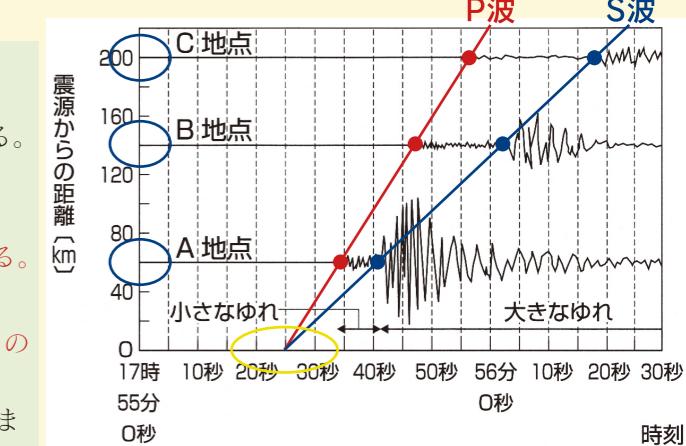
- 4 P波の方がS波よりも速いため、小さなゆれが先に起こる。

- 5 小さなゆれの継続時間(初期微動継続時間)は、P波とS波の速さの違いにより、震源から遠くなるほど長くなる。

- 6 それぞれの地点の小さなゆれが始まった時刻、大きなゆれが始まった時刻をそれぞれ結ぶと直線となる。

- 7 2つの直線が重なり合う地点は、震源からの距離が0kmとなる。

- 8 震源からの距離が0kmの時刻は、17時55分25秒となる。



小さなゆれ、大きなゆれの図をP波、S波のグラフに置き換える。

地震計の記録や過去の地震のデータなどを基に、地震のゆれの伝わる速度を推定させたり、地図上に震度を記録し地震が同心円状に伝わることをとらえさせたりする学習活動を位置付ける。

簡単な地震動のモデル実験、コンピュータシミュレーションなどを活用して地震の大きさや伝わり方の規則性を理解させる。

- 10 下の図は、日本のある地点での連続した3日間の気温、気圧、湿度、天気、風向、風力の変化を表しています。あの問い合わせに答えなさい。

(2) 図の3日間で、この場所を寒冷前線が通過したのはいつごろですか。次の1~4から1つ選んで、その番号を書きなさい。また、その判断した理由を簡潔に書きなさい。

- 1 1日目の12時から18時ごろ 2 2日目の6時から12時ごろ
3 2日目の18時から24時ごろ 4 3日目の12時から18時ごろ

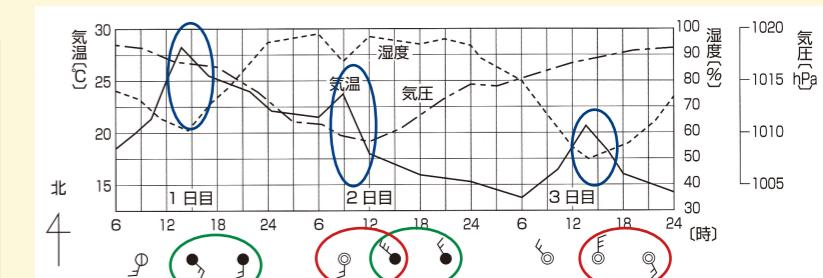
正答 2 理由(例): 風向が南よりから北よりに変わって雨になり、気温が下がっているから。

正答率:4.5%

生徒の思考

- 1 図に示されているデータの特徴を読み取る。
- ・風向きが大きく変わった時間帯が2か所ある。
 - ・天気が雨になった時間帯が2か所ある。
 - ・気温が急激に下がった時間帯が3か所ある。

- 2 寒冷前線の通過する際の特徴として、短時間の比較的強い雨が降り、風向きは南よりから西または北に急変し、気温が下がる。
- 3 風向が北よりになり、天気が雨になり、気温が下がっている時間帯は、2日目の6時から12時ごろである。



風向き、天気、気温の変化に着目する。

校庭などで気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身に付けるとともに、その観測記録などに基づいて気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだせる。

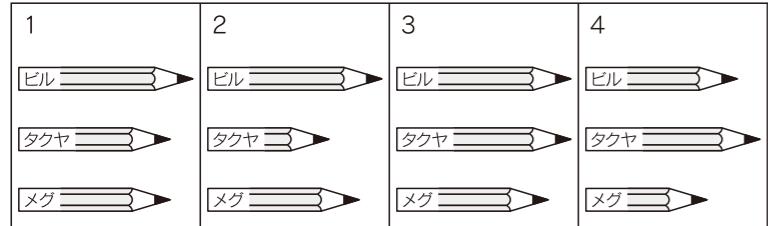
気象観測は、前線の通過が予想されるときや季節の特徴的な天気がみられるときを利用して、その天気の傾向がどうなるかを予測する。また、観測記録をもとに、その傾向がどの程度の期間で現れるかを分析する。さらに、観測記録をもとに、その傾向がどの程度の期間で現れるかを分析する。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅠ

■まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る力を身に付けることができるようになります。

- 1 放送による問題です。今から読まれる英文を聞いて、その内容に合っている絵を、それぞれ次の1~4から1つずつ選んで、その番号を書きなさい。英文は2回繰り返します。

(5) Bill's pencil is longer than Takuya's. Meg's is as long as Takuya's.



正答 1
正答率: 24.1%

生徒の思考

- 1 longer than ～の表現からビルの鉛筆がタクヤの鉛筆より長いことがわかる。
2 メグとタクヤの鉛筆の長さについては as long as が使われているので、同じ長さである。



比較する対象物を変えたり、主語を比較対象物に置き換えたりして、状況が理解できるように指導する。
○ A is longer than B の表現が、A を基準として B と比較しながら「A は B に比べて、より長い」という状況を説明していることを明確に理解できるようにする。
○ A is longer than B で表した文の A を B に置き換えて、「B は A より短い」の意味でも同様の状況を表現できることから、主語を置き換えて B is shorter than A などのように別な形容詞(比較級)を用いても状況を理解できるようにする。
○ 比較級に加え、同級を表す as ~ as ~ の表現なども取り入れながら状況が示す要点を適切に聞き取ることができるようにする。
○ 日常の授業として、形容詞や副詞の不規則な変化をする語 (good-better-bestなど) や、more、most の加わるものについても生徒に聞き取りの機会を多く与え、不規則な変化の語彙の聞き取りにも慣れようとする。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅡ

■物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取る力を身に付けることができるようになります。

- 4 次の物語文を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

One Friday Yukiko and Nancy were going home from school together. Yukiko said, "Are you free tomorrow?" Nancy said, "Yes, but why?" Yukiko said, "Well, I will go to a *forest near Minami Station with Tomoko. Do you want to come with us?" "Oh, that sounds good! What will you do there?" Yukiko answered, "There are many birds in the forest. We can watch them and also enjoy listening to their *songs." Nancy said, "Great! I like birds very much. What time shall we meet?"

"How about nine thirty at Minami Station? We can walk to the forest from the station. It *takes fifty *minutes." Nancy said, "OK." (以下略)

- (2) 由紀子たちの計画では、森に着くのは何時になりますか。最も適切なものを次の1~4から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 9時30分
2 9時45分
3 10時20分
4 12時

正答 3 正答率: 36.8%

生徒の思考

- 1 What time ~? は時間を尋ねているが、shall we meet という文が続いているので、2人が会う時間について話し合っている情報である。

- 2 How about + 時間 + 場所? で表現されているので、具体的な時間と場所が提案されている。また、We can walk to the forest from the station. 以降の文により、駅から歩いて移動し、その所要時間が50分であることが示されている。



What time ~? のあとに何の時間を尋ねているのか、あとに続く文とその考え方を関連させながら指導を行う。



時間を示す語や、It takes ~の文型、minute(s)などの時を表す単位の語に留意させ、その時間や場所などの関係から内容を正確に読み取るように指導する。



手がかりとなる語句やヒントを事前に与えて、正確に読み取りができるようになる。
①どんな登場人物がいるのか。
②由紀子とナンシーはどこで、何時に会う約束をしたのか。
③駅から森へ歩いてどのくらいかかるのか。
④森に着く時間を求めるにはどのように考えるべきか。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅢ

■自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く力を身に付けることができるようになります。

- 8 由里は、友達のエイミーに次の内容を伝えるため、Eメールを送ることにしました。あの下線部(1)と(2)に適切な表現を英語で書いて、Eメールを完成させなさい。

【伝えたい内容】

- ・今度の日曜日に野球部の試合がある。
- ・わたしは、その試合の観戦に行くつもりだ。
- ・わたしといっしょに来てくれないか。
(1)
- ・試合は午前9時に始まる予定である。
- ・もし行けるのなら、メールがほしい。
(2)

正答例

- (1) Will you come with me または Can you come with me
(2) If you can go 正答率: 25.7%

【Eメール】

Hi, Amy.
Our baseball *team will have a game next Sunday.
I'm going to see the game.
(1) _____
The game will start at nine in the morning.
(2) _____, please write an *e-mail to me.
Yuri

生徒の思考

- 1 この場合「わたしといっしょに来てくれないか」は、Let's go. では適切ではないので、相手に依頼する表現が必要である。

- 2 「もし行けるのなら」という表現は、If ~ で表現できる。ここでの主語は、Eメールの読み手である相手が主語となる。「もし行けるのなら」という表現から「もし（あなたが）行ける（行くことができる）のなら」と考えることができる。



日常的な授業を工夫する。

比較的短い英文を書く場合は、自分の考えや気持ちが読み手に正しく伝わるように、文と文の順序やつながりが適切であるかどうかを生徒同士で実際に読みあい、読み手の意見を参考に英文を推敲することでより適切な表現が書けるように指導する。

- 普段から、接続詞や副詞を使って文の順序や相互の関係を示すことを意識して書くことができるようになる。

- 代名詞を用いたり、置き換えたりするなどの言い換えの手法によって示すことができる場合は、実際に書き換えて別な表現例として指導する。

【問題文をもとに書きかえの場合の例】

Hi, Amy.
Our baseball team will have a game next Sunday, so I'm going to see it. Will you come with me?
The game is going to start at nine in the morning. Please write an e-mail to me if you can come.
Yuri.

未来を表す別な表現

接続詞的に表現 代名詞に置き換え

If 節と主節を入れ替えて表現

音楽

新しい学習指導要領の授業改善のポイント

■生徒が曲にふさわしい表現や構成を工夫したり、味わって鑑賞したりできるようにするために、[共通事項]を窓口として、指導のねらいを明確にした授業を展開しましょう。



[共通事項]を指導計画に位置付けましょう。

音楽科の指導では、生徒が音や音楽のよさや美しさを感じ取り、音楽が「わかる」、「できる」ようにする必要です。今回の改訂では、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要となる[共通事項]が新設されました。

[共通事項]

- ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受すること。
- イ 音楽を形づくっている要素とそれらの動きを表す用語や記号について、音楽活動を通して理解すること。

[指導計画への位置付け](例)

| 日本の伝統音楽 | |
|-----------|-----------------------------------|
| 題材のねらい | 筝独特的奏法や表現を聴き、日本の伝統音楽の特徴を感じ取らせる。 |
| 教 材 | 筝曲「六段の調」(八橋検校 作曲) |
| [共 通 事 項] | 音色 (奏法による音色の変化) 速度の変化、旋律 (平調子) |



音楽を形づくっている要素や要素同士の関連に着目させ、表現を工夫するための視点をもたせましょう。

[歌唱の活動の場合]

樂曲との出会い
「この曲はやさしい感じがする」

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連に着目する。

[共通事項]の内容：言葉のリズムと旋律や強弱とのかかわり

「なぜ、やさしい感じがするのか」

作曲者の意図を考えさせ、楽曲に対する理解を深めさせることも大切です。

音や音楽の特質や雰囲気を感じ取り、思考・判断する力の育成

表現を工夫して歌うことができる。

「歌詞の内容や曲想からどのように表現するか」「自分の表現を聴いて、思いや意図を表せたか」「どこを直したり変えたりすればいいか」

(例)「夏の思い出」(共通教材)

言葉のリズムと旋律や強弱とのかかわりを生かして歌うために、発音や息の使い方を工夫させます。また、表現活動を通して楽譜に記された様々な記号の動きを実感させ、自分の表現に生かせるようにします。
・第3フレーズの「花が」「咲いている」の後の休符
・3連符やテヌートの効果

美術

新しい学習指導要領の授業改善のポイント

■表現や鑑賞の能力を高めるために、[共通事項]の視点から授業を見直しましょう。



[共通事項]について、正しく理解しましょう。

[共通事項]は、生徒が生まれながらにもっている感性や造形感覚と深くかかわっており、「育てる」と同時に、生徒から引き出して活動に「生かす」という視点をもつことが大切です。

★学習指導要領では…

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。

イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

★[共通事項]・生徒のとらえ(例)

例えば木が対象であれば…

性質

感覚で感じ取る

柔らかい
温かい
暖かい

イメージ

全体的にとらえる 直感的にとらえる

どこか懐かしさを感じる

この例のような、「生徒自らが感じたこと」を教師が大切にすること



[共通事項]を適切に位置付けた題材設定や指導計画を作成しましょう。

[共通事項]は、指導計画に適切に位置付けることによって、生徒の感性を生かす指導ができたり、評価の視点として生かしたりすることができます。

★[共通事項]を位置付けた指導計画(例)

8 展開 (ゴシック:[共通事項]に係る内容)

| 学習活動・内容 | 指導上の留意点 | 評価の観点 | 形態 | 配時 |
|---|---|--------------------------------|----|----|
| 1 予備知識なしに、ゴーギャンの「我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか」を鑑賞し、ファーストイントインプレッションをプリントにまとめる。 | ○生徒の興味・関心を高め、細部にわたりじっくりと鑑賞することができるよう、拡大コピーによって実物大に伸ばした鑑賞資料を用意する。 ○様々な視点から発言できるように配慮する。 | ○自分の感覚を基に、作品のイメージをとらえることができたか。 | 個人 | 10 |



[共通事項]を生かせる、豊かな環境や材料を準備しましょう。

[共通事項]を生かすには、形や色彩などの性質や、感情、イメージを、豊かに感じ取ることができる環境や材料を、教師が吟味し、準備し、演出することができればより効果的です。

★[共通事項]を生かす材料(例)

歴史が刻み込まれたような流木などの材料が生徒の感性を刺激することも…



白紙ではなく、色紙。さらに一色ではなく、数色。ちょっとした準備で効果が大きくなることも…

今ある材料や環境でもかまいません!しかし、それにちょっとひと工夫を加えてみましょう。生徒のとらえるイメージが広がります!



[共通事項]を踏まえて、作品について生徒と対話しましょう。

[共通事項]は、「なぜいいと感じたのか」「何を美しいととらえたのか」を対話を通して生徒にかみ砕いて理解させるための、強力なツールになります。

★[共通事項]を生かす対話(例)

モチーフのどの部分が美しいと思った?

花びらが重なったところかなあ…う~ん

重なりの部分の色や大きさに、何か特徴はない?

あっそうか!
花のあざやかな色
がリズミカルに組
み合わさって
るから美しいのか!



どんな性質、感情、イメージをもったのか、対話することで、生徒に対して明らかにしていく。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅠ

■それぞれの運動が有する特性や魅力に応じて、基礎的な身体能力や知識を身に付け、生涯にわたって運動に親しむことができるようになります。

体育分野 球技領域においては…

運動の系統性を考慮するとともに、生徒の発達段階を踏まえ、指導内容を明確にすることが大切です。

例 ◎ ゴール型（バスケットボール、サッカー、ハンドボール）

<第1・2年生>

○攻撃を重視し、空間に仲間と連携して走り込み、マークをかわしてゴール前での攻防を展開する。
ボール操作

- ・マークされていない味方にパスを出す。
- ・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをする。
- ・得点しやすい空間にいる味方にパスを出す。
- ・パスやドリブルなどでボールをキープする。

空間に走り込む動き

- ・ボールとゴールが同時に見える位置に立つ。
- ・パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動く。
- ・ボールを持っている相手をマークする。

<授業設計のポイント>

○小学校でのゲーム・ボール運動領域の指導内容を把握しておきましょう。

○ボールを持たない動きを授業の中心目標に位置付けましょう。

○目標実現に向けた教材づくりをしましょう。

○ゲーム中の教師の言語的フィードバックにより、最適な「ボールを持たない動き」を理解させましょう。

○ゲーム観察により、生徒の動きを観る目を養いましょう。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅡ

■自らの健康を適切に管理し、改善していく思考力・判断力などの資質や能力を育成しましょう。

保健分野においては…

☺ 小学校の内容を踏まえた①系統性のある指導ができるよう健康の概念や課題に関する②内容を明確にし、③知識を活用する学習活動を取り入れるなど指導方法の工夫を行うことが大切です。

保健分野の授業改善のポイントは3つありますが、今回は、③知識を活用する学習活動を取り入れた指導方法の工夫について取り上げます。

<習得した知識を活用する学習活動とは>

習得した知識を日常生活に当てはめて考えたり、他の内容に応用したり、課題について、事柄を比較したり、分類したり、関連付けるなどして課題を整理する活動です。

○保健学習は、事例を用いたディスカッション等によって、習得した知識を活用して思考力や判断力を育てるここと、また、より深い理解に導くことを目指しましょう。

○習得した知識を活用する学習において、必ずしも、「習得」→「活用」という流れになるのではありません。学習内容に応じて、「活用」→「習得」への流れも学習活動に位置付けましょう。

学習活動では、思考・判断を促す工夫が必要です。



<指導方法の工夫とは>

- ・事例を用いたディスカッション
- ・ブレインストーミング
- ・心肺蘇生法などの実習、実験、課題学習
- ・コンピュータ等の活用
- ・専門性を有する教職員等の参加・協力など

保健の授業は、保健体育科教員が中心となって専門性を有する教職員等の参加・協力を得て推進します。

実験等では、その実験方法の習得をねらいとすることではなく、科学的な事実などの指導内容を理解できるようにすることが大切です。

新しい学習指導要領の授業改善のポイント

■第1学年の各分野の最初に設定するガイダンス的な内容の指導を充実させ、3学年間の技術・家庭科の学習に十分な見通しを立てることができるようにしましょう。

技術分野

ガイダンス的な内容では…

技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割や技術の進展と環境との関係について考えることを通して、現代社会で利用されている技術について関心をもたせる。

☺ これから学習するA材料と加工、Bエネルギー変換、C生物育成、D情報の4つの技術について、小学校との関連を図ったり、技術と社会や環境とのかかわりについて考えたりする学習活動を設定しましょう。

I アンケート等を通して、これから学習する技術にかかる小学校理科や図画工作科での既習事項を振り返らせ、4つの技術の学習との関連を図る。

工具の使用経験、材料や物質の特徴、立体の図示、電気の働きや利用、植物の成長など

II 生活と技術との関係についてイメージをもつことができるよう、身近な生活や産業に関する技術をあげさせ、題材として取り上げる。

家事を支える技術、情報を伝える技術、作物を栽培する技術、建築の技術、移動する技術など

III 題材として取り上げた技術について、社会とのかかわり・環境とのかかわりの視点で調べて発表したり話し合いをしたりするなどの主体的な活動を行い、これから学習する技術に関心をもつことができるようする。

社会とのかかわりの視点

技術の発達、生活の変化や向上、能率や生産性の向上、伝統や文化とのかかわりなど

環境とのかかわりの視点

自然環境や人間への影響、環境の保全、資源エネルギーの有効利用など

家庭分野

ガイダンス的な内容では…

家庭分野の内容を学習することが、一人一人の生活の自立や家族と共に家庭生活を工夫し創造することに気付き、学習への期待と意欲をもつことができるようになります。

☺ 生活の自立を目指し、自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えさせましょう。

【中学校家庭分野の学習を始めよう】

これまで身に付けたことを振り返りましょう。

I 小学校の学習を振り返る。

II 今自分ができそうなことを考える。

物語等を活用したり、自分の成長とそれにかかわってきた人々を図に表したりして、成長過程を振り返る活動を設定しましょう。

生活の自立を考える

III 今自分ができると思ったことを話し合う。

IV 中学校で身に付けることについて話し合う。

アンケート調査等を行い、自分たちが「できる」と思ったことができていなければいけないことをやできるようになりたいことから、3学年間を見通した課題をつかませましょう。

V 中学校の家庭分野を学ぶ意義や生活のとらえ方について学習する。

VI 生活全体を見通して、学習する内容をつかむ。

学習した知識と技術などを活用できるよう「生活の課題と実践」の計画を立てさせましょう。

中学生として生活の自立ができるようになります。

「家族又は児童」「食生活」「衣生活又は住生活」など、生活の中から自分の課題を見付け、課題解決の計画を立て、実践し、評価、改善する学習を学期や学年末等に、2~4時間設定しましょう。

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅠ

■形式的にならぬよう指導を工夫し、生徒が主体的に人間としての生き方を追求し、思考を深めるようにしましょう。

① 生徒や教材の特性等を考慮して、生徒が考えたくなる多様な学習展開を工夫しましょう。

1 ねらいを検討する

内容項目や年間指導計画をもとに、生徒の実態や活用する資料等に応じてできるだけ具体的にねらいを書きましょう。

2 教材(資料等)を分析する

人間としての生き方にかかわって考えさせることは何か、生徒の発言を具体的に想定しましょう。

3 発問構成を考える

教材(資料等)を分析し、全体の中での意味や、発問と発問とのかかわりを考えて発問を構成しましょう。

共感的活用

- ①〇〇〇のとき、どんな気持ちですか
- ②△△△のとき、どんな気持ちですか
- ③～した後、どんな気持ちですか

感動的活用

- ①最も心に残ったのはどこですか
- ②その場面が心に残ったのはどうしてですか
- ③主人公のすばらしい心はどんな心ですか

批判(弁護)的活用

- ①主人公の行為(考え方)をどう思いますか
- ②批判・弁護のどちらの考えに賛成ですか
- ③主人公の行為を支えたのはどんな考えですか

範例的活用

- ①主人公が～したのはどんな気持ちや考えかでしょう
- ②主人公は～した後、どんな気持ちですか
- ③行為の結果から主人公(自分)が学んだことは

問題解決的

- ①何が問題ですかなぜ問題ですか
- ②主人公(あなたは)どうしたらよいですか
- ③そうしたらどうなりますか一番いいのは

4 手立てを考える

手立ての引き出しを増やして、多様な学習活動を展開しましょう。



役割演技

資料中の主人公等の役割を生徒に即興的に演じさせます。

意図的に話を構成し直したり、二人組で演じさせたりするなど工夫できます。

ロールレタリング

自分と相手の立場で架空の手紙のやりとりをする手法です。
 ①手紙を書く相手を決める
 ②自分から相手へ手紙を書く
 ③手紙を読んだ相手になったつもりで手紙を書く

カードや図

学習プリント等に考えを書かせるときに、文章だけではなく図や色を使う方法です。
 ■立場…「○・×」や「赤・青」
 ■量や割合…シーソー、円グラフ
 ■状態…丸やギザギザ、顔の表情
 ■変化…心情曲線、色の変化

新しい学習指導要領の授業改善のポイントⅡ

■生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を工夫しましょう。

① 教材の発掘や自作資料の開発に取り組みましょう。

新聞等を活用する

新聞には、よく「人物」が取り上げられているコーナーがあります。そこに描かれた人物の情報から自作で資料をつくることができます。取り上げられた人物に直接取材ができると、もっと臨場感あふれる資料になるでしょう。

地域人材を活用する

地域には、身近な自然を守っている人、困難に立ち向かいスポーツに取り組む人、伝統的な行事を継承する人などがいます。このような人を資料化することで、具体的に生き方を学んだり、一緒に学習したりすることができます。

テレビ番組等を活用する

最近のテレビでは、医療や経済、スポーツなどの専門的な分野で活躍する人物を取り上げたドキュメンタリー番組が数多くあります。そのような番組の一部を視聴するなどして、資料提示に変化をつけることも考えられます。

② 教材を共有の財産にしましょう。

- 新しく作成した教材を使用する場合、年間指導計画を変更することになりますから、校長や教頭はじめ、道徳教育推進教師や学年内の教師と十分に共通理解をしておくことが大切です。
- 作成したものについては、いつでも、だれでも使えるように整理してストックしましょう。

総合的な学習の時間

新しい学習指導要領の授業改善のポイント

■「探究的な学習」を充実させ、「協同的」な態度を育成しましょう。

① 学習過程を探究的にしましょう。

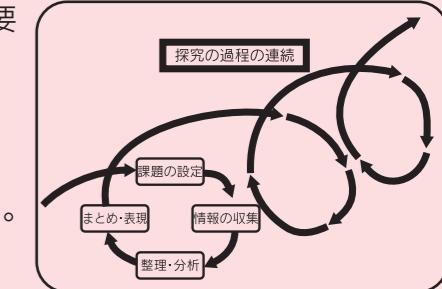
探究的な学習とするためには、学習過程が以下のようになることが重要です。

- ①【課題の設定】 体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ。
- ②【情報の収集】 必要な情報を取り出したり収集したりする。
- ③【整理・分析】 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。
- ④【まとめ・表現】 気付きや発見、考えなどをまとめ、判断し、表現する。

※①～④は順番が前後したり同時に行われたりする場合もあります。

※この探究の過程が繰り返され、探究活動の質が高まることが大切です。

➡ この過程の中で、体験活動や「言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動」を大切にします。



② 他者と協同して取り組む学習活動を大切にしましょう。

- 体験活動で入手した多様な情報を交換し、全体で考えたり話し合ったりして課題を明確にする学習活動
- 異なる視点を出し合い、検討する中で、事象に対する見方や考え方が深まるような話し合いや意見交換
- グループや集団で学習活動を進めることや、地域の人や専門家など校外の人と交流する機会

③ 小学校との接続を視野に、連続的、発展的な学習を展開しましょう。

学校段階間の取組の重複を改善し、児童・生徒の発達に応じた適切な学習活動が展開されるよう、学習活動の例示として、小学校では「地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動」、中学校では「職業や自己の将来に関する学習活動」が加わりました。

- 小学校の全体計画や年間指導計画と比べ、中学校の計画に同じ内容の学習がないかを見直しましょう。
- 校区内に複数の小学校がある場合、小学校同士、小・中学校間で情報交換を行うなどしての全体計画や年間指導計画を見直すことも大切です。

特別活動

新しい学習指導要領の授業改善のポイント

■集団としてよりよい生活を築くための「話合い活動」を充実させましょう。

* 中学校学習指導要領解説特別活動編 (1) 学級や学校の生活づくりの中で示されている「話合い活動」の題材例

| | ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 | イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 | ウ 学校における多様な集団の生活の向上 |
|-----|---|--|---|
| 留意点 | 組織や係が生徒会活動とも連携を図りながら、自発的、自動的な活動を進めていく。 | 自己の役割に責任と喜びを感じ、よりよい学級にするための様々な創意工夫ができるようにする。 | 集団生活のマナーとルールを守りながら自主的、実践的な活動を進めるようにする。 |
| 題材例 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や学校行事への参加や協力の問題 ・組織や係活動の円滑な運営に伴う問題 ・学級の環境整備に関する問題など | <ul style="list-style-type: none"> ・学級の目標や組織づくり ・仕事の分担やルール ・学級生活の充実のための工夫など | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や学校行事への参加や協力 ・学年の目標と協力 ・集団生活のマナーとルール ・異年齢集団の意義など |

④ 生徒による自主的、実践的な活動が助長されるような工夫をしましょう。

- 学級の実態に即した組織を設け、生徒一人一人に役割を分担させる。
- 朝の会や帰りの会等の活用により、活動時間を確保する。
- 学級活動のコーナー等を設置し、活動に必要な道具や材料等を常備する。
- 1年間で、生徒の創意が生かせる場を計画的に位置付け、生徒が計画を立て実践できるよう配慮する。

* 小学校の学級活動で身に付けた「話合い活動」に関する議題の選択、話合いの方法、役割分担などの経験を生かして、効果的に指導を行いましょう。

